

令和 4年度 施策評価シート（令和 3年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち

施策 01 子育て支援の充実

主管課： のびのび子育て課

関係課： すくすく保育課、土塔中央保育所、北園保育所、保健センター、生涯学習課

1 施策の目的

<b>対象（誰、何を対象としているか）</b> 18歳以下の子ども及び保護者	<b>意図（どのような状態にしたいのか）</b> 子どもを安心して育てることができるまちをつくる。
---	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安心して子育てができるまちだと思う子育て世帯の割合 (%) のびのび子育て課						
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
84.20	80.30	84.70	86.80	88.60	89.30	85.00
<b>向上指針</b>	上がると良い	(状況) 前年度より0.7ポイント増加していますが、アンケート誤差の範囲内です。 (原因) 南北児童センターや守谷駅前親子ふれあいルーム、地域子育て支援センターが行う親子で交流・活動ができる場の提供や気軽に子育ての相談ができる環境、保育所が増えたことによる待機児童の減少、また、さまざまな保育サービスを提供していること、市内の公園が整備され、安心して遊べる場が多くあること等から保護者にとっての安心感につながっているものと推測されます。				
<b>対前年度</b>	横ばい					
<b>目標達成度</b>	達成					
<b>次年度課題</b>	課題としない					

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
<b>向上指針</b>						
<b>対前年度</b>						
<b>目標達成度</b>						
<b>次年度課題</b>						

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
<b>向上指針</b>						
<b>対前年度</b>						
<b>目標達成度</b>						
<b>次年度課題</b>						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	4,129,291	5,341,276	5,708,455	5,185,702	3,430,889
人件費	245,916	299,486	280,392	0	0
トータルコスト	4,375,207	5,640,762	5,988,847	5,185,702	3,430,889

## 4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
01 多様な保育サービスの提供	向上	維持	向上		2,507,712	3,802,951	3,013,081	3,551,466	3,231,246
02 安心して遊べる場の提供	横ば				138,565	94,227	86,508	124,249	124,249
03 子育て不安の解消と交流の場の提供	向上	低下			46,330	55,262	57,054	66,431	66,431
04 子育ての経済的負担の軽減	向上				1,428,910	1,380,207	2,538,808	1,432,499	0
99 施策の総合推進					7,774	8,629	13,004	11,057	8,963

## 5 施策全体の取組状況と課題

## 前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、事業を縮小をせざる得ない状況になりましたが、施設担当者が、感染対策を万全にして、多くの親子や児童が参加できるよう工夫を重ねた結果、どのイベント等も保護者や児童にとって満足していただける内容となりました。安心して過ごせる環境の中で、人とのコミュニケーションを図りながら自分の好きな活動に取り組めることができる居場所は保護者や児童にとって必要不可欠です。今後においても、保護者や児童が安心して子育て支援施設を利用いただけるように努めていきます。</p>	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

## 当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>「第2期子ども・子育て支援事業計画」について、計画の内容と実際の状況について毎年度確認を行い、乖離がある場合は必要に応じ見直しを検討していきます。</p> <p>子どもの居場所や子どもが安心して遊べる場の提供、また子育てに不安をもつ保護者が気軽に相談できる場の拡充については、引き続き施策に取り組み、健やかに暮らせるまちを目指して、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実を図ります。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

## 次年度の方向性

<p>核家族や共働き世帯の増加により、育児環境に大きな変化が見られています。父親の育児参加が推進されているところですが、依然として子育ての中心的な役割は母親が担っていますので、育児への負担感や孤立感を軽減し、安心できる子育て環境を提供していくことが必要です。新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、友人と会う機会が減ってしまったり、子育て支援施設においても、人数や時間の制限がかかりゆとりがなくなってしまう方も多く見られますので、親子が活動できる場所を提供する中で、子育て相談に力を入れ、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の充実を図ります。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加